

## 9.丸亀城(香川) 丸亀市一番丁

慶長2年(1597年)生駒親正(いこまちかまさ)・一正(かずまさ)による亀山への築城に始まります。このころの城造りは、織田信長の築いた安土城や豊臣秀吉が築いた大坂城を手本に城郭だけでなく武家屋敷や城下町までも濠や土を盛った土塁(どるい)で囲み防御した「総構(そうがまえ)」となっています。「石の城」と形容されるその名のとおり、丸亀城は石垣の名城として全国的に有名です。大手門から見上げる天守は威厳に満ち、400年の時を経た今日でも決して色あせることなく自然と調和した独自の様式美をはっきり現在に残しています。亀山に築かれた平山城で別名亀山城と呼ばれています。(同パンフ)



大手門



同城の石垣



ハートの石を強調



石垣



天守





天守の内部



城からの眺め(左写真 遠くに瀬戸大橋)